

鶏

卵

供給過剰で価格に乱れ



くもり

国内需要は横ばいで推移も、鶏卵大手の生産増強により供給過剰となり、卵価は前年に続き乱れる気配。業者の寡占化が進む一方で、有力業者の首都圏進出は継続。輸出はアジア向けを中心に順調に拡大しており、各社生き残りを賭けたビジネスモデルの構築が求められる。特に大手グループでは、ブランド卵を含めた付加価値商品の育成が重要か。